

2025 年度 日本医療大学 一般選抜（後期）

必須科目

国語『国語総合』

問 題 冊 子

受 験 番 号							
2	5						

答 案 作 成 上 の 注 意

1. 国語『国語総合』1科目の問題冊子と解答用紙です。
2. 問題冊子は1～16頁、解答用紙は1枚です。
3. 解答は全て解答用紙に記入してください。

問題一 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

「運」の意味

運という概念にあらためて着目してみると、^(a)この概念には不思議な特徴と、複雑な奥行きがあることが分かる。たとえば、仕事や学業などでよい成績をあげて褒められたとき、我々は、「いやいや、運がよかったですよ」と⁽¹⁾ケンソ^ンすることがある。この種の発言は、自分はたまたまよい成績をあげたのであって、自分に本来備わっているもの（知識、才能、性格、等々）や努力とは関係がない、という意味だろう。《ア》、別の場面では我々は、「幸運の星の下に生まれた人」とか「強運の持ち主」という風に、まさに特定の人物に備わる安定した属性として運を語ることもある。これはいつたいどういうことだろうか。

運という概念の内実を理解するための足掛かりとして、まず、日本語の言葉としての「運^え」について、その辞書的な意味を確認しておこう。

「うん（運）」

- ① 幸、不幸などをもち、状況を動かしていく、人の力ではどうすることもできない作用。巡り合わせ。運命。

- ② （特に、よい場合をいう）幸運。しあわせ。

漢字「運^え」の訓読みは、「はこぶ」「うつる」「めぐる」である。ここから、物事の運び、境遇の移り行き、世の中の巡り合わせといった意味合いが生じてくる。《イ》、人の力ではどうすることもできない作用、人の意志やコントロールを超えた計り知れない働き、予期できない出来事といったものを、「運」という言葉は表現している。

運と偶然

ただ、このことを表す言葉はほかにも存在する。「偶然」である。たとえば、なぜ事故に巻き込まれたかを聞かれたとき、「ただの運だよ」と答えることも、「ただの偶然だよ」と答

えることもできる。こうした場合には、「運」と「偶然」は互いに置き換え可能な言葉だと言える。

しかし、^(b)「運」と「偶然」には大きな違いもある。たとえば、道端に落ちているものをよく見ると一円玉だったとき、我々は「偶然一円玉を見つけた」とは言うが、「運よく一円玉を見つけた」とはまず言わないだろう。他方で、落ちていたのが五百円玉だったのであれば、(それをくすねるつもりなら)「運よく五百円玉を見つけた」と言うのは A ではない。これは、一円玉を手に入れることが重要であるケースはまずなく、よいとも悪いとも言えない一方で、五百円玉を手に入れることはそこそこ重要であり、おおよそよいケースだと言えるからだろう。つまり、「運」というのは出来事の重要性としばしば深く関係し、よいとか悪いといった価値を帯びうるが、「偶然」それ自体がそうした価値を帯びることはない、ということである。(たとえば我々は、「運がよい」とか「運が悪い」とは言うが、「偶然がよい」とか「偶然が悪い」とは言わない。) しかも、「運」はしばしばよい方のニュアンスを——つまり、幸運というポジティブなニュアンスを——含んでいる。たとえば「運がなかった」というのは、「幸運に恵まれなかった」ということを意味する。

また、「偶然」とはまさに、何の B もなく、そのつど偶発的に出来事が生じるさまを指すが、「運」の場合には一定の継続性ないし傾向性が認められることも多い。たとえば我々は、「運が向いてきた」と言ったり、「運が続いている」と喜んだり、「もう運の尽きた」と悲しんだりする。さらに、先にも触れた通り、我々は特定の人間について、生きている限りずっと続くような属性として「運」を語ることもある。たとえば、「強運の持ち主」とか「運のない人」といった言い方である。

運と運命

このように、たとえば持続的な傾向性や人物の属性として位置づけられるとき、「運」は「運命」の意味に近づいてくる。すなわち、自分ではコントロールできない人生の定め、人

知を超えた何か——神や物理法則といったもの——によって決められていること、理由や原因のある必然的な作用、といった意味合いを帯びてくるのである。つまり、「運」は、一面では「偶然」の領域に重なりつつ、多面では、正反対の「必然」の領域に接近するのである。

ただし、「運」と「運命」はぴったりイコールというわけではない。繰り返すように、「運」はしばしば「偶然」に置き換え可能である一方で、「運命」が「偶然」の意味をもつことは基本的にない。言い換えれば、ときに「運」は、「運命」と同様に「必然」寄りのニュアンスを帯びることもあるが、どちらかといえば「偶然」の領域に C を置いた言葉だということである。

《ウ》、この特徴は「運」と「運命」の間に重要な違いをもたらす。ある出来事が運命として——とりわけ、理由や原因のある必然的な作用として——捉えられる場合、少なくとも予期の可能性が閉じられることはない。たとえば、地震を止めることは人間には不可能だが、もしもその原因を⁽²⁾ シヨウサイに究明することができれば、地震の生起を予期し、あらかじめ何らかの対策を施すことができるだろう。また、地震の原因がそれこそ神の怒りといった超自然的なものであるとしたら、神に供物を捧^{もつ}げてその怒りを鎮めることによって、地震の発生自体をコントロールすることができるかもしれない。（仮に、神の怒りと地震の発生というこの因果関係が、客観的には迷信や⁽³⁾ モウソウの類いであるとしても、そう信じる人々自身は運命を変える希望を見出すことができる。）

これに対して、出来事が偶然の作用として捉えられる場合には、物事が生じることに何の原因もないことになるのだから、予期の可能性もコントロールの可能性も見出すことはできない。それゆえ、偶然のニュアンスに傾斜することの多い「運」という言葉は、「運命」という言葉と比べれば、⁽⁴⁾ 人が先を見通したり制御したりすることの困難さをより強調するニュアンスを帯びていると言えるだろう。

運と幸せ・幸い

そして、「運」という言葉はもうひとつ、別の奥行きも備えている。すでに確認した通り、「運」はしばしば「幸運」というポジティブなニュアンスを含む。たとえば、「強運」や「運が向く」といった表現、あるいは逆に、「不運」とか「運の尽き」といった表現のなかでは、「運」は吉事や福をもたらすよい作用として位置づけられている。このニュアンスが前面に出てくると、「運」は「幸せ」や「幸い」といった意味合いを帯びるようになる。

この、^(d)「運」と「幸せ」「幸い」の結びつきの深さを、今度は後者の言葉たちの方から眺めてみよう。これらの辞書的な意味は次の通りである。

「しあわせ (仕合・幸)」

「しあわす (為合)」の連用形の名詞化。

①めぐり合わせ。運命。なりゆき。機会。よい場合にも、悪い場合にも用いる。

②幸運であること。また、そのさま。

(イ) 運がよいこと。また、そのさま。幸福。

(ロ) 幸運にめぐりあうこと。運が向くこと。うまい具合にいくこと。

③物事のやり方、または、いきさつ。事の次第。始末。

④人が死ぬこと。不幸、葬式。

「さいわい (幸)」

「さきわい」の変化した語。

①神仏など他が与えてくれたと考えられる、自分にとって非常に望ましく、まだしあわせに感じられる状態。運のよいこと。吉事にあうこと。幸運であること。また、そのさま。幸福。しあわせ。

②ある事態、状況が、ある人にとってうまく利用できるよいものであること。また、そのさま。

まず、「幸せ」という言葉は元々、「する」と「あわす」が結びついた動詞「しあわす (仕

合わす、為合わす)」が名詞化したものであり、二つの事物がぴったり合った状態を指す。そして、その状態は自分の意志や努力だけでは実現せず、それを越えた働きに大きく左右されるものだという受けとめ方が、この言葉には込められてきた。《エ》、この言葉は本来、ぴったり合った状態がよいものか悪いものかにかかわらず、⁽⁴⁾ ジュンスイな「巡り合わせ」や「運命」を意味している。(ただ、現在では、④の「人が死ぬこと」や「不幸」、「葬式」といった意味ではほとんど用いられない。) また、特によい状態、すなわち、恵まれた状態や満ち足りた状態を指す場合であっても、それが幸運によるものだというニュアンスを本来は含んでいる。

それから、「幸い」という言葉は、動詞「さきわう」の名詞形が変化したものである。「さきわう」は、豊かに栄えること、幸が広がることを意味するが、その状態はやはり自分の力を越えたものによって与えられた幸運だという意味合いを帯びている。

D

(古田徹也『不道德的倫理学講義——人生にとって運とは何か』より)

問一 傍線部(1)～(4)について、傍線をつけたカタカナと同じ漢字を含むものをそれぞれの①～⑤より一つ選び、記号で答えなさい。

(1) ケン|ソ|ン

- ① フソ|ンな態度をわびる
- ③ ソ|ンヅクをかけて闘う
- ⑤ ソ|ントクを考えた行動

- ② ソウソ|ンがいるほどの長生き
- ④ 私のソ|ンケイする人は父だ

(2) ショウ|サイ

- ① 住所をショウ|カイする
- ③ 正しいかケンショウ|する
- ⑤ 話をショウ|ウリヤクする

- ② 今後もショウ|ジンします
- ④ 被害金額はショウ|ウです

(3) モウ|ソウ

- ① 体のショウモウ|が激しい
- ③ たつてのショモウ|です
- ⑤ 彼のメイモウ|は破られた

- ② このごろモウ|レツな暑さだ
- ④ うまく話のモウ|テンを突く

(4) ジュン|スイ

- ① ジュン|タクな資金
- ③ 法律をジュンシユ|する
- ⑤ 発言のジュン|を突く

- ② ジュン|ジョウで穏やかな性格
- ④ 明確なキジュン|を示した

問二 空欄 ～ に入る言葉として最も適当なものをそれぞれの①～④より一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 当然 ② 奇妙 ③ 最善 ④ 誤り

- ① 因果関係 ② 説得力 ③ 特徴 ④ 新しさ

- ① 一目 ② 目標 ③ 重心 ④ 争点

問三 空欄《ア》～《エ》に入る言葉として最も適当なものを次の①～④よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度使ってはならない。

- ① しかし ② そして ③ とりわけ ④ それゆえ

問四 傍線部(a)「この概念には不思議な特徴と、複雑な奥行きがある」とあるが、どういうことか。次の①～⑤について本文の説明に一致していれば○、一致していなければ×をそれぞれ書きなさい。

- ① 「運」という言葉がネガティブなニュアンスで用いられることはないということ。
② 「運」という言葉は場面が異なると、逆の意味で語られることがあるということ。
③ 「偶然」は「運」と置き換え可能だが、「運命」とは置き換えができないということ。
④ 「運」が「偶然」の意味で用いられると「必然」の意味が弱まってしまうこと。
⑤ 「運」が特定の人物に備わる属性を指す場合は、ポジティブなものであること。

問五 傍線部(b)「『運』と『偶然』には大きな違いもある」とあるが、「運」と「偶然」との違いをわかりやすく言い換えた一文の文頭五字および文末五字を抜き出さなさい。句読点等も一字に含めること。

問六 傍線部(c)「人が先を見通したり制御したりすることの困難さ」とあるが、どういふことか。本文の内容に即して正しく説明したものを次の①～⑥より**二つ選び**、記号で答えなさい。

- ① 「運」は「偶然」と置き換え可能だからこそ、「必然」とはいえないこと。
- ② 「運」は「運命」に比べて出来事の明確な因果関係を見出しにくいということ。
- ③ 地震の原因が究明できれば、発生を予期し必要な対策を講じられること。
- ④ 「運」は人知を超えた法則に支配されると、「運命」という意味をもつこと。
- ⑤ ある出来事が偶然による場合、人間がコントロールすることはできないこと。
- ⑥ 「運命」のもつ必然というニュアンスが、予期の可能性を閉じてしまうこと。

問七 傍線部(d)「『運』と『幸せ』『幸い』の結びつきの深さ」とあるが、どういふことが最も適当なものを次の①～⑤より**一つ選び**、記号で答えなさい。

- ① 元々「幸せ」という言葉にはポジティブなニュアンスのみ存在したということ。
- ② 「運」の奥行きとは、ポジティブなニュアンスが追加されたということ。
- ③ 現在は「幸せ」が「不幸」の意味で使われることはなくなったということ。
- ④ 「幸い」は「たまたま運に恵まれた状況」に対しても使われるということ。
- ⑤ 辞書的な意味の並びは「運」と「幸せ」「幸い」の結びつきと無関係であること。

問八 次の文章は本文の D に入る一節で、(あ)～(え)にはそれぞれ本文中の語のいずれかが入る。本文の内容と合致するように、文章を完成させなさい。

このように、「(あ)」や「(い)」という古来の日本語は、「(う)」や「(え)」といったものと切り離せないうちで用いられてきた。これは、「幸福」という言葉とは対照的な特徴である。「幸福」は江戸時代頃から使用例が見られる言葉だが、日常では基本的に、不平や不満がなく心が満ち足りているさまを意味し、「(う)」や「(え)」というニュアンスは含んでいない。また、現在では「(あ)」という言葉もそのニュアンスが弱くなっている一方で、「(い)」はいまも「幸運」という意味合いを強く帯びているように思われる。たとえば我々は、「怪我がなくて(い)だった」とか、「(い)にもバシなかった」などと言っただろう。

問題一 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

車中点描

西明石行きのＪＲ京都線各駅停車が、ホームの停車位置から少し行き過ぎて止まる。大阪駅である。並んで電車を待っていた客が、列を崩してドアの前へ⁽¹⁾殺到する。ドアが開く。客が降り終わるまで、入口を広く開けて待てばいいのに、ドアの両側からせっかちな客が、速く乗り込もうと入口を狭める。焦れば焦るほど、乗り込むことができない。ようやく乗り込んでも、もう座席はあいてはいない。

こんな混雑に、一人のおばあさんが、荷物を⁽²⁾握^{にぎ}りて、勇敢にも降りる客の中央突破を計った。客はやむなく二手に分かれて降りる。しかし不思議におばあさんをうまく避けている。とつさの反応である。いくらあわてても、馬は落馬した主人を踏まないものだという。

電車が混んでいると、わざとあとから乗る人がいる。先に乗り込んで人混みの中に入るより、あとから乗ってドアの所に立っているのを好む人達である。こうすればどんなに混んでも、体の片側だけはドアにもたれることができる。

乗り込んだ客は、席があいていれば、先ず客席の四隅から座り始める。入口に近いからかもしれないが、あながちそれだけでもなさそうである。電車が混んできても、隅ならば体の一側面が物に接している。ある種の生物には固体の表面に触れると安定する性質がある、これを接触走性^{せつしほくそうせい}という。駅のベンチには両端に接するものがない、従って客は勝手な所に座る。

電車には両側の入口に挟まれて^{はさま}始^{はじ}まり正方形に近いスペースがある。ここに乗り込んだ客には吊革^{つり}がない。客は先ず^{まず}周辺部に物に接して立つ。中央に残されたスペースで電車の揺れに耐えている客は、隣の客と接しないように間合いをとっている。従って客の分布は一樣である。体操でもするときは別だが、人が勝手に立っているとき、その分布が一樣になることは滅多にない。フジツボの幼生^{ようせい}（シブリス幼生）は物に付着するとき、隣との間合いをとって一樣に分布する。

吊革につかまって、移り変わる外の景色を眺めていると、前の客が「次に降ります」と立ち上がる。座席があくと、すぐにその両脇の客が⁽⁷⁾何食わぬ顔で座り直す。座り直した位置は決して元と同じではない。少し狭められた席の幅に、自分の体が入るかどうか、とつさに判断し、

「済みません」

と言いながら割り込むように座る。とつさではあるが、この判断には不思議にくるいが無い。自分の尻の幅を感覚的に掴んでいるようだ。もつともヤドカリも自分の入る巻き貝の殻を探すと、その入口の大きさを判断してから宿を替える。自分の尻の大きさの感覚を持っているらしい。

七人掛けの長い座席に六人しか座らないと、少し詰めてもらえば、何とか座れるくらいの隙間ができる。乗り込んできた客が、何処に立つてもよいのに、わざわざこの隙間の前の吊革を選んで立つ。素知らぬ顔をしているが、詰めてくれとの⁽³⁾催促である。座っている客はこれに素知らぬ顔で応える。

一向に席を詰めてくれなければ、仕方がないと狭い席に割り込んでしまうことがある。お隣さんの尻の温もりを感じるのには当惑する。明らかに狭いなど思ったときは、前へ半分せり出したようにして腰掛ける。両脇の人の迷惑そうな表情に、無理を承知で掛けた人の素知らぬ顔が面白い。

両脇の一人が、まだ駅まで間があるというのに、突如立ち上がる。こんな⁽⁴⁾窮屈なところに座ってられるか、そんなに座りたければ譲ってやるよとの意思表示のつもりだろう。しかし結局は押し出されただけのことである。電線に鈴なりになった雀の押しくらまんじゅうとあまり違いはない。

座席が空いているのに、立っている客が誰も座らないでいる。座席に何か汚いものでも付いているのかなと思ってよく見るが、何も見えない。思い切って腰掛けてから、尻の下にそつと手を入れ、座席に触れてみる。濡れてもいないことを確かめて、ようやく安心する。

生物には自分の仲間の排泄物^{はいせつぶつ}とは同居しないという性質がある。

年寄りの席があっても、それが守られている事は滅多にない。だからといって年寄りが優先席の前に、もの欲しそうな顔をして吊革につかまっているのは、はたで見ていると恥ずかしい。人は年寄りを見ていないようで、実はよく見ているものである。立ってうろうろしている年寄りを前にすると、座席に座った客の間に、何となく困惑した雰囲気^{ふんいき}がただよう。年寄りの困惑した顔を見かねて、今座ったばかりの若者が立ち上がって席を譲る。^(a)車内はようやく落ち着きを取り戻す。

老齢のものに席を譲るような動物はいないかなと考えたが、思い当たるものがない。なんの（進化生物学的な）見返りもないのに、自分が損をして年寄りを助けるような A 行為は、人間にしか見られないのかもしれない。精神活動の所産なのだろう。

何年か前に初めて席を譲られたことがあった。そのときは、遂に私も年寄りに見られるようになったのかと、がつくりすると同時に、譲ってくれた男が恨めしかった。譲られてもがつくりしない年寄りが、^(b)本当に譲られることが必要な人達である。

西岡本に移り住み、J R西日本で大阪学院大学に通い始めて、もう三年目になるが、見知らぬ人から席を譲られたことは、幸いにしてまだない。

意地

子供に注意をすると、

「分かってるよ」

という返事が戻ってくる。分かっているなら早くやれば良いのに、やる気配すらない。重ねて注意をすれば、

「うるさいな」

と言われてしまう。

子供のためにと思ってしまった注意が、いつの間にか子供を意地でもやらないような心理状態

に迫りやっている。もう少しうまく誘う方法もあったらうに、しまったことをしたと反省する。子供の方も早くやりたいのだが、言われてからやるのでは、⁽⁴⁾ いまいましい。無理をして反抗してきた意味がなくなる。それで一所懸命にやらないでいる。この馬鹿らしい話は、子供を女房と置き換えても成り立つと言ったら、女房に叱られた。

人間には一般に他人から言われるのを嫌う性質があるらしい。研究者のこの性質が、⁽⁵⁾ ある学問を思いもよらない方向に走らせてしまったことがあると言え、誰でも B になるだろう。しかしこれは実際に起こったことなのである。

十八世紀から十九世紀の昔、世界各地で生物の新しい種類がまだ続々と発見されていた、古き良き時代の話である。研究者達は競って新種を発表した。生物学の主流は生物分類学だった。しかし分類学は間もなく一つの困った問題に行き当たった。

その一つは、同じ種類の生物に違う名前が付けられたり、違う種類の生物が同じ名前と呼ばれていたりすることだった。これは、^(注1) フランス革命や^(注2) ナポレオン戦争のために、ヨーロッパの研究者達は、お互いの連絡ができなくなってしまう、研究がそれぞれの国で独自に進められた結果であった。

もう一つの困った問題は、研究者達が生物の名前を勝手に替えることだった。生物学者は生物について理解したことを、皆に分かるように言い表そうと努力した。そこで、前に付けた名前がその種類の特徴と合わないことが分かったときには、その特徴を正確で適切に表現するような名前に替えた。

生物の一つの種類が多くの名前を持っていたり、違う種類が同じ名前と呼ばれていたりしては混乱が起こる。生物学者達は、一つの種類には、その種類だけしか持っていない、ただ一つの名前しかないのが良いと考え、寄り集まって話し合い、規則によってこの混乱を規制することにした。こうしてできたのが国際動物命名規約である。そしてその中の、例えば、「先取権の原則」は、生物の一つの種類が沢山の名前を持っているときには、一番先に付け

られた名前を使わなければならないと決めている。

論文を発表したとき、もし自分の使った名前よりも、もっと古い年に付けられた名前があると注意されれば、規約によりいやでもその名前を使わなければならないとなってしまった。そして研究者も子供達と同じように、他から言われてから替えるのはいまいましかつたらしい。悲しい人の性である。そこで、誰からも言われないようにと、完全を求める研究者達は、一番先に付けられた名前を探すために、昔の文献の⁽⁶⁾詮索をはじめた。これは生物を鑑定するのに必要であつたし、これには先輩の研究を尊重するという⁽⁴⁾大義名分もあつた。そして分類学者を博学多識にもさせた。しかし、古い名前探しにこだわり過ぎた分類学者の中には、^(注3)書誌学者のようになってしまった人もあり、生物分類学は生物学の主流から消えて行つた。

^(d)意見を素直に受け入れる心は、意見に逆らう心を経て初めて本物になる。これを経ない素直はふぬけであるが、逆らう心も一歩間違えば悲喜劇を生む。人から注意されたとき、それを正しく受け入れて行動することは、簡単なようで案外に難しい。

気が付いてみたら、国際動物命名規約の「先取権の原則」は、その他の原則と一緒になつて、生物分類学者の心を手玉にとり、生物の研究はいつの間にか生物学者の業績の研究にすり替えられていた。ままならないのは人の心であり、恐ろしいのは規約である。

(花井哲郎『カイミジンコに聞いたこと』より)

(注1) フランス革命……一七八九年にフランスで絶対王政が倒され、共和政が実現した市民による革命。

(注2) ナポレオン戦争……フランス革命後に権力を得たナポレオンが一八一五年までに起こした一連の戦争。当初はフランス革命を外国干渉から守る目的だったが、しだいに革命理念の拡大へ変化し、周辺諸国にとっては侵略戦争となった。

(注3) 書誌学……書籍を対象に、その形態・材料・用途など、また内容や成立の変遷などに関する情報を実証的に研究する学問。

問一 傍線部(1)～(5)の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 殺到
- (2) 提げて
- (3) 催促
- (4) 窮屈
- (5) 詮索

問二 傍線部(ア)～(ウ)の語句について、その意味として最も適当なものをそれぞれ①～⑤より一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 何食わぬ顔で

- ① 少し恥ずかしそうな様子
- ② 何か心配事がある様子
- ③ 知らないふりをする様子
- ④ 愛想がなさそうな様子
- ⑤ いかにも堂々とした様子

(イ) いまいましい

- ① たいそう気の毒であること
- ② どうにも気がかりであること
- ③ なんだか気に食わないこと
- ④ むしろ気恥ずかしいこと
- ⑤ 非常に不愉快であること

(ウ) 大義名分

- ① 説得力のある理由
- ② 知られたくない事情
- ③ 必ず従うべき命令
- ④ 口先ばかりの言い訳
- ⑤ 無理のある理屈

問三 空欄 [A] ・ [B] に入る言葉として最も適当なものを次の①～⑧よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 遺憾千万 ② 排他的 ③ 半信半疑 ④ 独善的
- ⑤ 非現実的 ⑥ 一目瞭然 ⑦ 初志貫徹 ⑧ 利他的

問四 傍線部(a)「車内はようやく落ち着きを取り戻す」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを次の①～⑤より一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 西明石行きの各駅停車は必ず大阪駅で満席になり、徐々に客が降りていくから。
- ② 座席に年寄りが座れない、という状況を気にしていた乗客が実は多かったから。
- ③ 割り込みや押し出しなど座席の小さな奪い合いが、いずれも決着に至ったから。
- ④ 優先席に若者が座り年寄りが立っている、という状況が即時に解消されたから。
- ⑤ 筆者を含め、座席が空いているのに座らなかつた乗客のすべてが着席したから。

問五 傍線部(b)「本当に譲られることが必要な人」とあるが、どういう人のことか。最も適当なものを次の①～⑤より一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 年寄りでありながら、優先席に座る若者の前で当惑した顔をしない人。
- ② 席を譲られた際、年寄りと見られたことにがつくりした経験をもつ人。
- ③ 隙間があるのに詰めてくれない座席へ、割り込まずに滑り込める人。
- ④ 自分が年寄りであり、他者からもそう思われていることを認めた人。
- ⑤ 割り込まれ狭くなった席から、まだ次の駅まで間があるのに立ち上がった人。

問六 傍線部(c)「ある学問を思いもよらない方向に走らせてしまった」とあるが、筆者は何がどうなったことが「思いもよらない方向」と述べているのか。「生物学」という言葉を使用し、末尾が「～こと」になるかたちで三十文字以内で説明しなさい。読点も一字に含めること。

問七 傍線部(d)「意見を素直に受け入れる心は、意見に逆らう心を経て初めて本物になる」とあるが、どういうことか。その説明として最も適切なものを次の①～⑤より一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 規約に従って一番先に付けられた名前を探すうちに、生物分類学者の仕事内容が生物鑑定から書誌学に変わってしまったこと。
- ② 生物分類学者が命名の先取権にこだわりすぎなければ、生物分類学は現在の生物学の主流につながる学問として発展できたかもしれないこと。
- ③ 博学多識の研究者にも子供じみた部分があり、せっかく自分が付けた名前に先取権があると言われると意地でも変えたくなくなってしまうこと。
- ④ 研究者が生物の名前を勝手に替えたのは、本来その種類がもつ特徴と前に付けられた名前が合わないという問題の解決が目的だったはずであること。
- ⑤ 生物分類学者たちは、生物の鑑定のため先輩の研究を調べているうちに、過去の研究を尊重していなかったという事実気がついたこと。

問八 次の①～⑤について本文の内容に一致していれば○、一致していなければ×をそれぞれ書きなさい。

- ① 人間の行動は他の生物や過去の歴史と必ず一致することが証明されている。
- ② ある現象を別の現象と照合しながら、その類似性を的確に描写している。
- ③ 完全を求める研究者が、必ず優れた業績を残すというわけではない。
- ④ 筆者は電車内の人々の様子を注意深く観察し、行動分析を楽しんでいる。
- ⑤ 「車中点描」も「意地」も冒頭で本論を導入するエピソードを紹介している。

2025 年度 日本医療大学 一般選抜（後期）

必須科目

英 語

『英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ，論理・表現Ⅰ』

問 題 冊 子

受 験 番 号							
2	5						

答 案 作 成 上 の 注 意

1. 英語『英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ，論理・表現Ⅰ』1科目の問題冊子と解答用紙です。
2. 問題冊子は2～6頁，解答用紙は1枚です。
3. 解答は全て解答用紙に記入してください。

問題 1 次の文章を読み、問いに答えなさい。

(1)Ecotourism, or nature tourism, is traveling to often remote areas to visit natural reserves and/or traditional cultures. Ecotourists should be more aware (ア) and limit their impact on the communities they encounter. (2)This is seen as a means of balancing visitor numbers with the need (イ) conservation. Advocates of ecotourism argue that travelers have a right to discover places of great natural beauty. In addition, they argue that tourist interaction (ウ) local people provides increased incomes and jobs. Furthermore, (3)they say biodiversity is preserved by directing money back into local economies through taxes and consumer spending. Critics, however, highlight a number of problems. They argue that money (A)pay overseas is unlikely to find its way into local economies. Moreover, they say natural habitats are disturbed when local people are displaced and animal routines disrupted. Additionally, hotel construction can result in pollution from poorly planned and controlled developments. (4)This, they argue, can cause significant damage (エ) nature reserves.

Clearly, there are still outstanding issues to be settled in promoting ecotourism. When (B)manage well, it can benefit communities and increase levels of employment and conservation. When (B)manage badly, however, it may have long and lasting negative outcomes. With an estimated 25 percent of tourism being ecotourism, it is vital that the needs of local environments are considered.

注)

reserves : 保護区

encounter : 遭遇する

advocate : 主唱者

biodiversity : 生物多様性

habitat : 生息地

disrupt : 中断させる

“Ecotourism and Protection of the Natural Habitat,” *AFP World Focus* (Seibido, 2017),
一部改変.

問1 文中の空欄（ ア ）～（ エ ）に適する語を①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。ただし、同じ番号は一度しか使うことができません。

- ① as ② for ③ of ④ to ⑤ with

問2 文中の下線部（A）と（B）の動詞を適切な形に直しなさい。

問3 文中の下線部（1）～（4）について本文に明記されていることを踏まえ、それぞれの問いの答えを①～③から一つ選び、番号で答えなさい。

1. 下線部（1）に関して、正しく述べているものはどれか。

- ① 経済的にお得な旅行
- ② 自然を見に行く観光旅行
- ③ 環境に優しい場所へ行く旅行

2. 下線部（2）に関して、正しく述べているものはどれか。

- ① エコツーリストは、訪問地に与える影響を抑えなくてはならないということ
- ② エコツーリズム
- ③ 伝統文化

3. 下線部（3）に関して、正しく述べているものはどれか。

- ① 地元の人々
- ② エコツーリズムの主唱者たち
- ③ エコツーリズムに批判的な人々

4. 下線部（4）に関して、正しく述べているものはどれか。

- ① 管理された土地開発
- ② 地元の経済が潤わないこと
- ③ ホテル建設で周辺環境が汚染されること

問題2 以下の会話の空欄 1～10 に適する語を①～⑩から一つ選び、番号で答えなさい。ただし、**同じ番号は一度しか使うことができません**。なお、選択肢は文頭に来る語も小文字で始めてあります。

Arty : Hi, Bob. I heard you're going (1) a trip.
Bob : Yes, Arty. I'm going to see my favorite animal in Kobe.
Arty : (2) zoo are you going to? I think there are two (3) them in Kobe.
Bob : Actually, I'm going to visit both.
Arty : (4) for you. And what's your favorite animal anyway?
Bob : Pallas's cat. It's named (5) the German naturalist Peter Pallas (6) first categorized it (7) the 18th century.
Arty : Wow, you know the animal so (8).
Bob : Yes, I just love them! They're also called "manul," meaning a small wildcat (7) Mongolian.
Arty : (9) Mongolian? Not German?
Bob : Because they can be found in Mongolia as well as in Russia, Iran, and so on.
Arty : You sound so excited!
Bob : I (10) wait to go see them!

注)

Pallas's cat, manul : マヌルネコ

- | | | | | |
|---------|---------|---------|-------|-------|
| ① after | ② can't | ③ good | ④ in | ⑤ of |
| ⑥ on | ⑦ well | ⑧ which | ⑨ who | ⑩ why |

問題3 以下の問いに答えなさい。

問1 空欄に適する語句を①～③から一つ選び、番号で答えなさい。

- (1) I have to repair the ().
① breaking window ② broken window ③ window broke
- (2) She () the desk, and left the room.
① laid the letter on ② lay the letter at ③ lied the letter in
- (3) I () she would come back.
① could had never imagined ② could never have imagined
③ never could imagine

問2 それぞれの日本語の文と同意になるように [] 内の語を並べ替えて英文を完成させ、**その [] 内で二番目と四番目**に来る語を答えなさい。

- (1) 彼が自分の部屋で泣いているのが聞こえた。
I [crying / heard / him / his / in] room.
- (2) 彼に皿洗いをしてもらった。
I [got / him / the / to / wash] dishes.

問3 それぞれの二文がほぼ同意になるように、空欄に一語を入れて完成させなさい。

- (1) Feeling very tired, she studied for the exam.
() () felt very tired, she studied for the exam.
- (2) As she helped me, I managed to finish it by noon.
I managed to finish it by noon () her help.

問題4 以下の問いに答えなさい。

問1 太字下線部の発音が [] の語の太字下線部と**同じ**である語を①～⑤から**二つ**選び、番号で答えなさい。

(1) [loud]

- ① crown ② owl ③ saw ④ true ⑤ thought

(2) [own]

- ① caught ② nose ③ phone ④ tall ⑤ wolf

(3) [tooth]

- ① cooperate ② neighborhood ③ snow ④ soup ⑤ improve

問2 それぞれ以下の問いに答えなさい。

(1) 次の単語のうち、**第二音節に強勢**を置くものを①～⑤から**二つ**選び、番号で答えなさい。

- ① alive ② different ③ entertain ④ maintain ⑤ olive

(2) 次の会話文において、それぞれの文で**一番強く**発音する単語を書きなさい。

A : Where is the roo in this zoo?

B : I beg your pardon?

注) roo (オーストラリア英語) = kangaroo

2025 年度 日本医療大学 一般選抜（後期）

必須科目

数学『数学Ⅰ・数学A』

問 題 冊 子

受 験 番 号							
2	5						

答 案 作 成 上 の 注 意

1. 数学『数学Ⅰ・数学A』1科目の問題冊子と解答用紙です。
2. 問題冊子は1～5頁、解答用紙は1枚です。
3. 解答は全て解答用紙に記入してください。

数学 I・数学 A(後期)

「数学 I・数学 A」解答にあたっての注意事項

- 1 解答は、特に指示がない限り「0～9までの整数」か「－（マイナス記号）」を記入する形式になっています。解答が $x=30$ のとき、問題の解答部分は $x=\boxed{\text{ア}}\boxed{\text{イ}}$ となっています。アの解答欄には3を、イの解答欄には0を記入しなさい。
特別な指示や選択肢がある場合は、それに従いなさい。
- 2 解答が $x=-\frac{2}{3}$ のとき、問題の解答部分は $x=\frac{\boxed{\text{ア}}\boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}}$ となっています。アの解答欄には－（マイナス記号）を、イの解答欄には2、ウの解答欄には3を記入しなさい。
- 3 解答が $x=-a-2b$ のとき、問題の解答部分は $x=\boxed{\text{ア}}a-\boxed{\text{イ}}b$ となっています。アの解答欄には－（マイナス記号）を、イの解答欄には2を記入しなさい。
- 4 解答が分数になる場合は、既約分数（それ以上約分できない分数）で答えなさい。また、2の解答例でも示したように、分数の分母は正の数とします。
- 5 解答に根号（ルート記号）を含む場合は、根号の中は可能な限り小さな整数で表しなさい（例えば、 $2\sqrt{8}\Rightarrow 4\sqrt{2}$ ）。

問題1 次の問に答えなさい。

問1 不等式 $\left|x - \frac{2}{3}\right| < a$ を満たす整数 x が5個であるような定数 a の値の範囲は

$$\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}} < a \leq \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}} \text{である。}$$

問2 三角形 ABC において、 $\angle BAC$ の二等分線と辺 BC との交点を D とし、 $AB = 6$ ， $BD = 3$ ， $DC = 2$ とする。

(1) $AC = \boxed{\text{オ}}$ である。

(2) 三角形 ABC の内心を I とすると、 $AI : ID = \boxed{\text{カ}} : 1$ である。

(3) 三角形 ABC の面積を S とし、内接円の半径を r とする。このとき

$$r = \frac{2}{\boxed{\text{キ}}\boxed{\text{ク}}} S \text{ である。}$$

問3 1つのさいころを3回投げる試行を行う。1から6の目の出方は同様に確からしいとする。

(1) 1，2，3の目が1回ずつ出る確率は $\frac{\boxed{\text{ケ}}}{\boxed{\text{コ}}\boxed{\text{サ}}}$ である。

(2) 目の和が6である確率は $\frac{\boxed{\text{シ}}}{\boxed{\text{ス}}\boxed{\text{セ}}\boxed{\text{ソ}}}$ である。

問4 2次関数 $f(x) = 2x^2 - 6ax + 5a^2 + a + 3$ と $g(x) = x^2 + ax + a + 1$ の最小値をそれぞれ M と m とする。 $Mm < 0$ を満たす定数 a の値の範囲は

$$a < \boxed{\text{タ}} - \boxed{\text{チ}}\sqrt{\boxed{\text{ツ}}} \text{ または } \boxed{\text{テ}} + \boxed{\text{ト}}\sqrt{\boxed{\text{ナ}}} < a \text{ である。}$$

問題2 底面が半径6である円錐を考え、その高さを8とする。この円錐の頂点から下ろした垂線と底面の交点は底面の中心と一致する。さらに側面と底面に内接する球をBとおく。次の問に答えなさい。

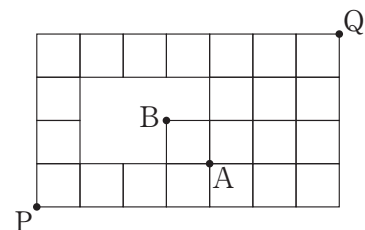
問1 円錐の体積は π である。

問2 円錐の表面積は π である。

問3 球Bの半径は である。

問4 球Bの体積は π である。

問題3 図のような道を考える。なお図のP地点を $(0, 0)$ で表し、左から数えて m 番目、下から数えて n 番目である地点を (m, n) で表す。ただし、 m は0以上7以下の整数であり、 n は0以上4以下の整数である。

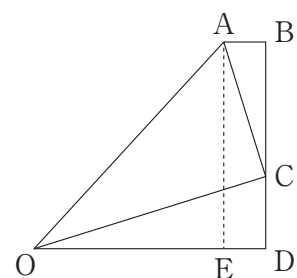


問1 P地点 $(0, 0)$ から、A地点 $(4, 1)$ を通りQ地点 $(7, 4)$ まで行く最短の道順は 通りある。

問2 P地点 $(0, 0)$ から、B地点 $(3, 2)$ を通りQ地点 $(7, 4)$ まで行く最短の道順は 通りある。

問3 P地点 $(0, 0)$ から、Q地点 $(7, 4)$ まで行く最短の道順は 通りある。

問題 4 図において、 $OA = 2$ ， $\angle ABC = \angle ACO = \angle CDO = \angle AEO = 90^\circ$ ， $\angle AOC = 30^\circ$ ， $\angle AOD = 45^\circ$ とする。次の問に答えなさい。



問 1 図より $\angle ACB = \boxed{\text{ア}}\boxed{\text{イ}}^\circ$ ， $OC = \sqrt{\boxed{\text{ウ}}}$ ， $AC = \boxed{\text{エ}}$ ， $OE = \sqrt{\boxed{\text{オ}}}$ ，
 $BD = \sqrt{\boxed{\text{カ}}}$ である。

問 2 $CB = x$ ， $BA = y$ とおく。このとき， $OD = \sqrt{\boxed{\text{キ}}}x$ ， $CD = \sqrt{\boxed{\text{ク}}}y$ ，
 $BD = x + \sqrt{\boxed{\text{ケ}}}y$ ， $OE = \sqrt{\boxed{\text{コ}}}x - y$ である。

問 3 $\sin 15^\circ$ と $\cos 15^\circ$ の値は，

$$\sin 15^\circ = \frac{\sqrt{\boxed{\text{サ}}} - \sqrt{\boxed{\text{シ}}}}{\boxed{\text{ス}}}, \quad \cos 15^\circ = \frac{\sqrt{\boxed{\text{サ}}} + \sqrt{\boxed{\text{セ}}}}{\boxed{\text{ソ}}} \text{ である。}$$

